

新中期経営計画説明会

アンリツ株式会社

2024年6月7日



東証 プライム
証券コード：6754

<https://www.anritsu.com>

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

中期経営計画 GLP2026

濱田 宏一

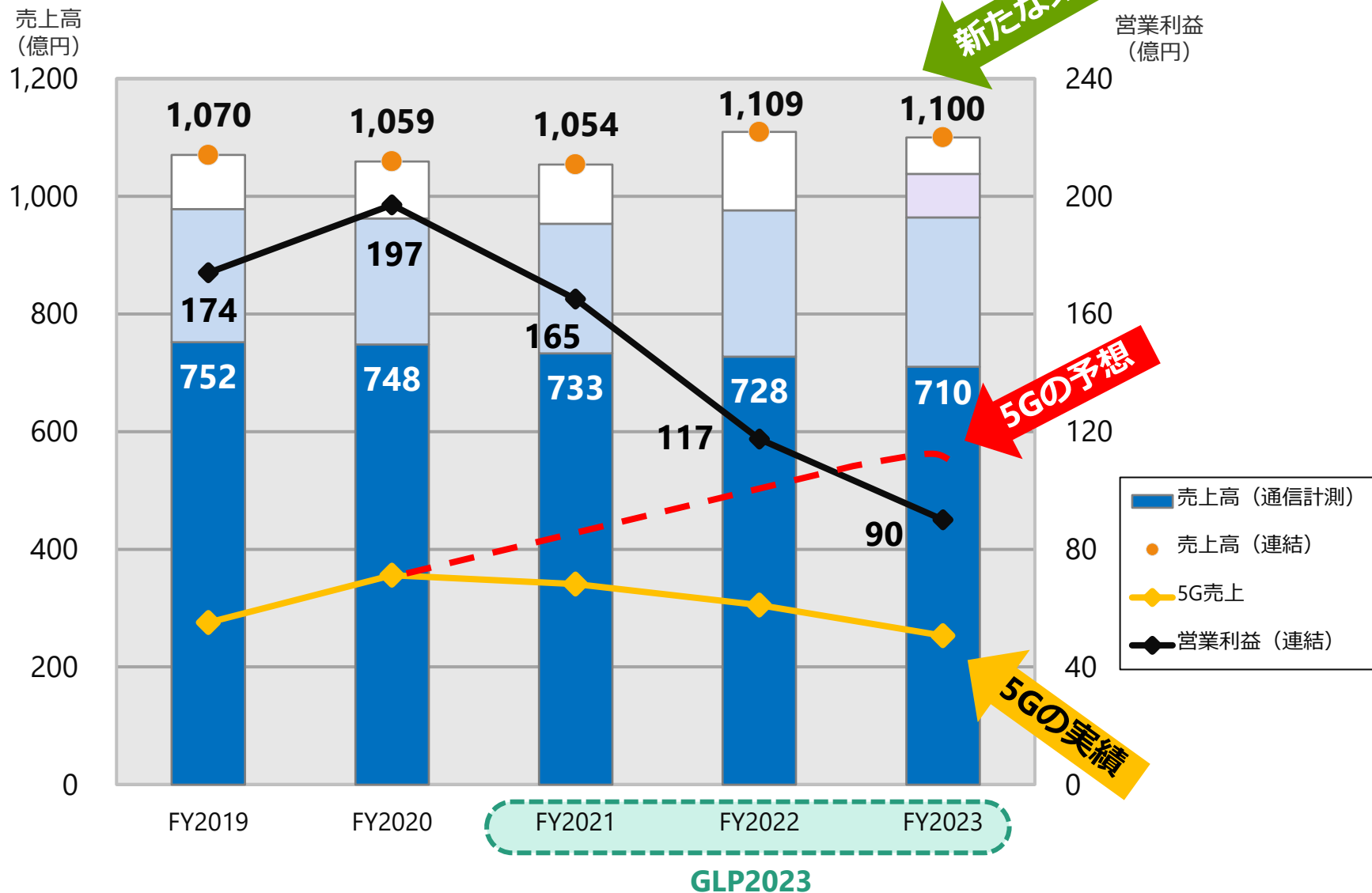
アンリツ株式会社

代表取締役 社長 グループCEO

目次

1. 中期経営計画（GLP2023）レビュー
2. 中期経営計画（GLP2026）の基本方針
3. GLP2026とFY2030の目指す姿
4. 売上高・営業利益計画
5. 財務戦略
6. 人材戦略
7. サステナビリティ目標
8. 財務戦略詳細
9. 通信計測事業
10. PQA事業
11. 環境計測事業

1. 中期経営計画（GLP2023）レビュー



項目	成果
財務	売上1,100億円 営業利益90億円と 数値目標は未達も、 株主還元は計画通り実行 （配当性向：54%、 総還元性向：87%）
重点分野*	高砂製作所のM&Aにより EV・電池試験市場へ参入
通信計測	5G市場の縮小と世界的な インフレ圧力が続いたが、 生成AIの急拡大による データセンタ高速化需要 を獲得
サステナビリティ	女性管理職比率：12.1% （1.3ポイント上昇）

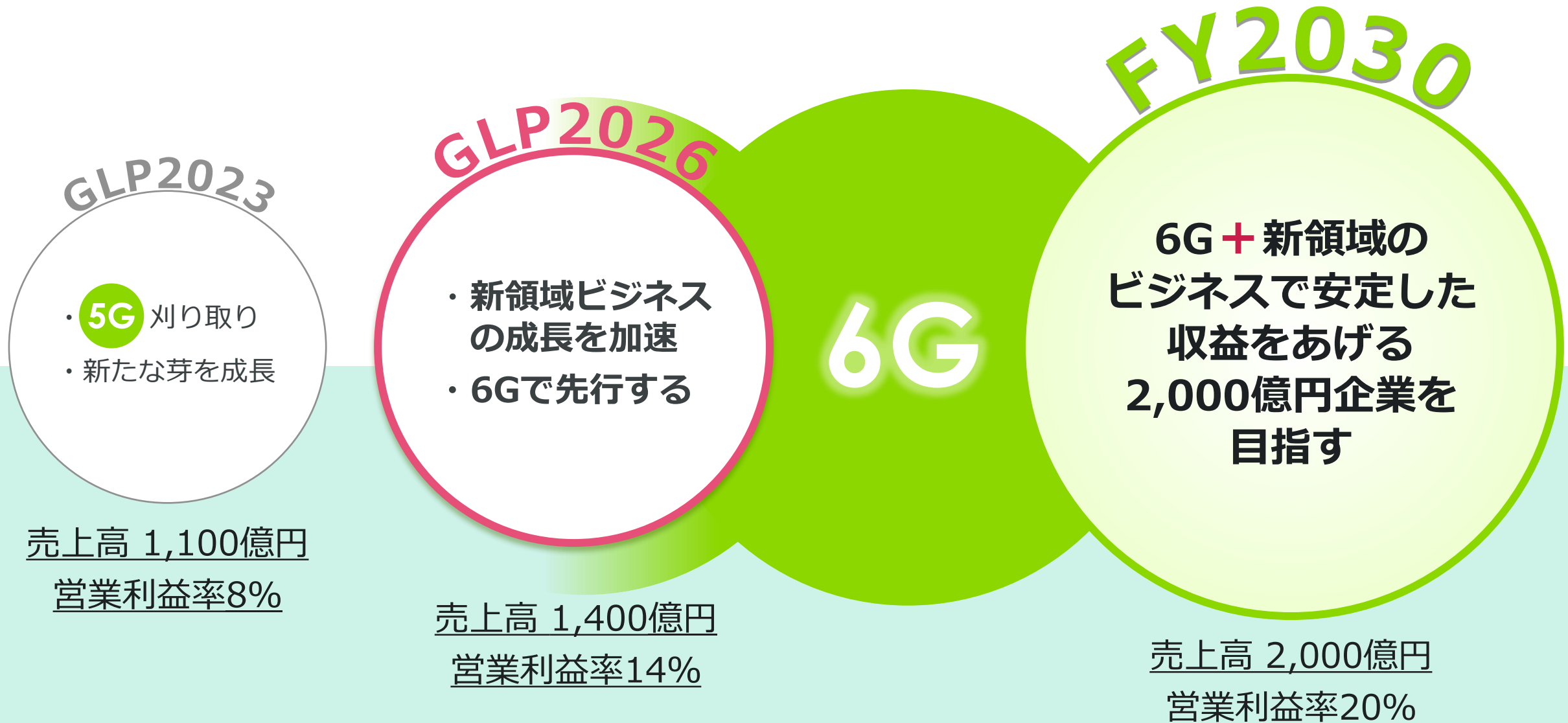
* 4つの重点分野：ローカル5G、EV・電池、医療・医薬品、光センシング

2. 中期経営計画（GLP2026）の基本方針

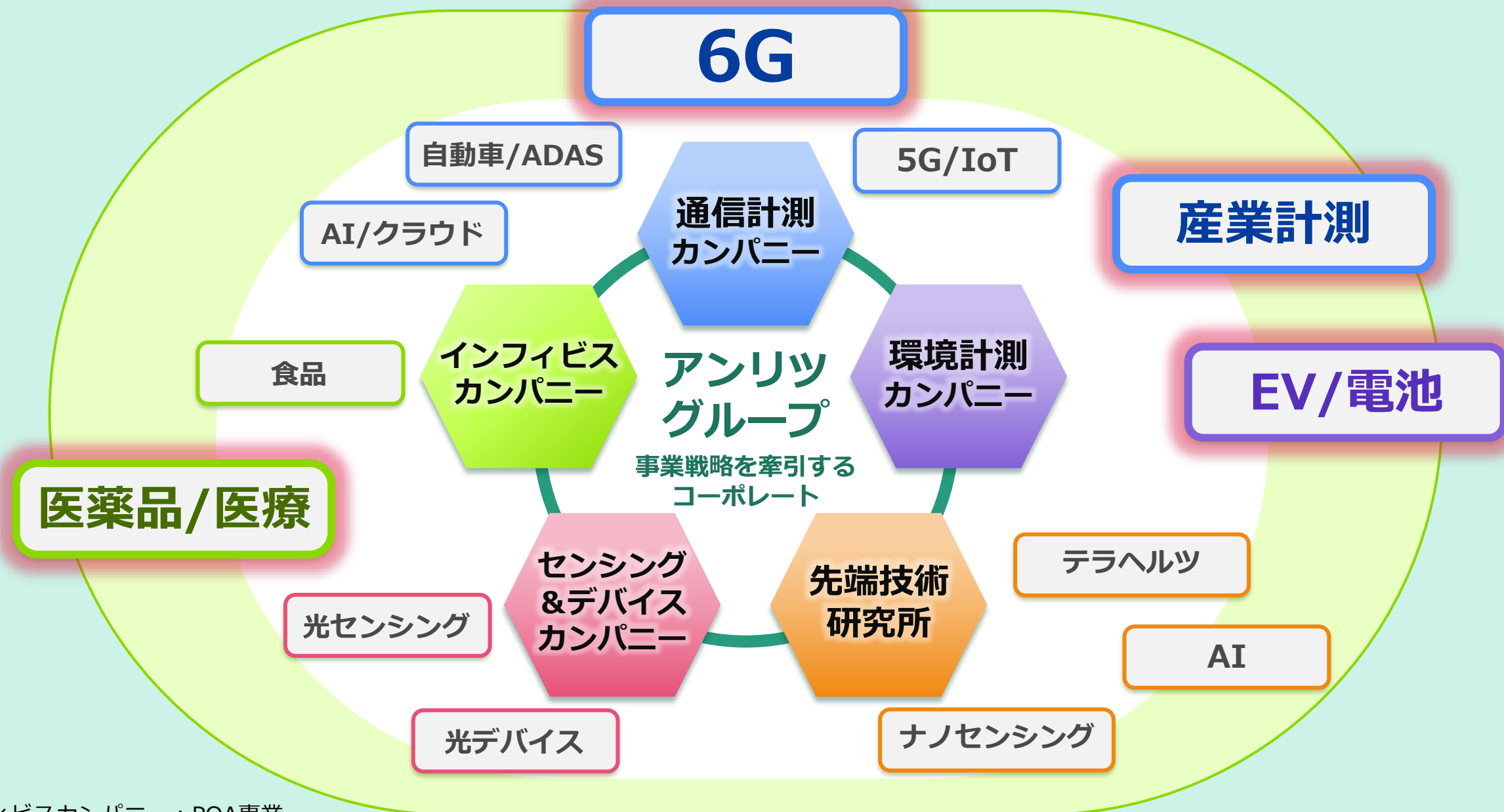
- 1 成長投資に400億円以上（M&A+設備投資）
- 2 ROE $\geq$ 10%を安定的に達成する事業ポートフォリオの構築
- 3 2026年度の営業利益の25%を通信計測以外で創出
- 4 新領域ビジネスの人材強化、全社での人材育成体制を構築
- 5 事業活動における資源循環(サーキュラーエコノミー)の実現
- 6 株主還元では配当性向50%以上を目指す

3-1. GLP2026とFY2030の目指す姿

「はかる」を超える。限界を超える。共に持続可能な未来へ。



3-2. GLP2026 6Gと3つの新領域ビジネス



*インフィビスカンパニー：PQA事業

3-3. 6Gと新領域ビジネスの成長をグループ横断で加速

6G

6Gで先行。
要素技術、
キーデバイスで差別化

ビジネスオーナー

通信計測
カンパニー

300GHz要素技術

先端技術
研究所

キーデバイス

センシング
&デバイス
カンパニー

EV/電池

販売と製造で通信計測
事業がグローバル
に協力。
成長を加速

ビジネスオーナー

環境計測
カンパニー

販売・製造協力

通信計測
カンパニー

産業計測

通信計測事業と環境計
測事業で通信以外の
産業に汎用計測器を
拡販

ビジネスオーナー

通信計測
カンパニー

販売協力

環境計測
カンパニー

医薬品/ 医療

インフィビスとセンシ
ング&デバイスは光セ
ンシング技術等を使い、
医薬品、医療分野開拓

ビジネスオーナー

インフィビス
カンパニー

光センシング

センシング
&デバイス
カンパニー

*インフィビスカンパニー：PQA事業

4. 売上高・営業利益計画

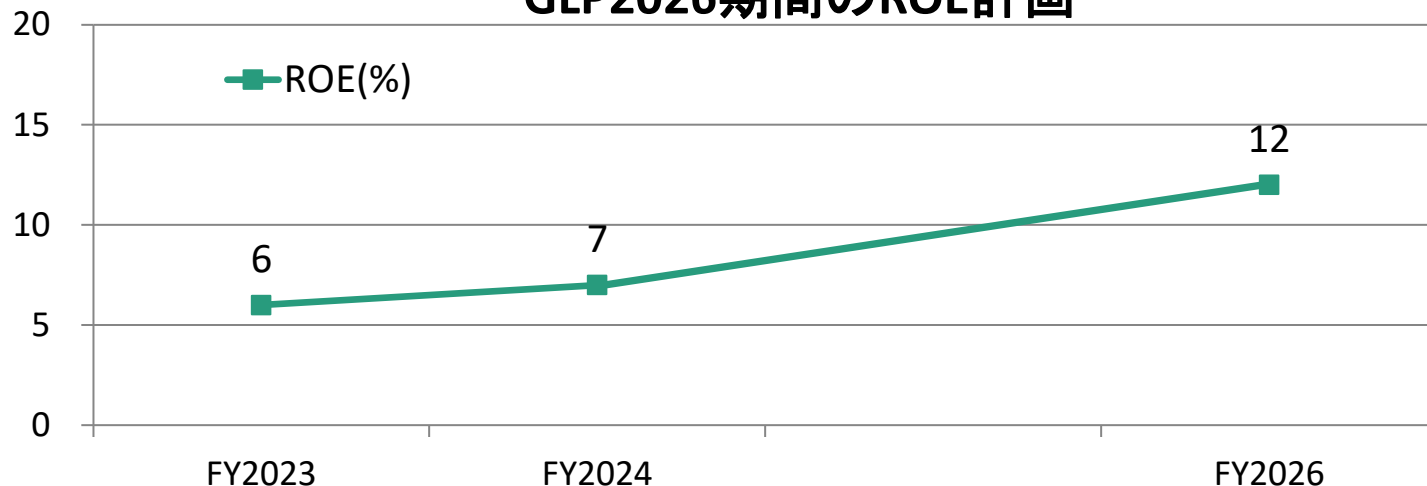
指標		FY2023	FY2024	FY2026
売上高		1,100 億円	1,150 億円	1,400 億円
営業利益		90 億円	110 億円	200 億円
営業利益率		8 %	10 %	14 %
当期利益		77 億円	83 億円	150 億円
ROE		6 %	7 %	12 %
通信計測事業	売上高	710 億円	738 億円	900 億円
	営業利益	75 億円	92 億円	150 億円
	営業利益率	11 %	12 %	17 %
PQA事業	売上高	254 億円	267 億円	300 億円
	営業利益	13 億円	19 億円	36 億円
	営業利益率	5 %	7 %	12 %
環境計測事業	売上高	74 億円	90 億円	130 億円
	営業利益	5 億円	7 億円	14 億円
	営業利益率	7 %	8 %	11 %

(参考) GLP2026想定為替レート：1米ドル=145円、1ユーロ=155円

5. 財務戦略

1. 株主資本コスト（7%）を上回るROEの実現
企業価値KPI ROE $\geq$ 12%

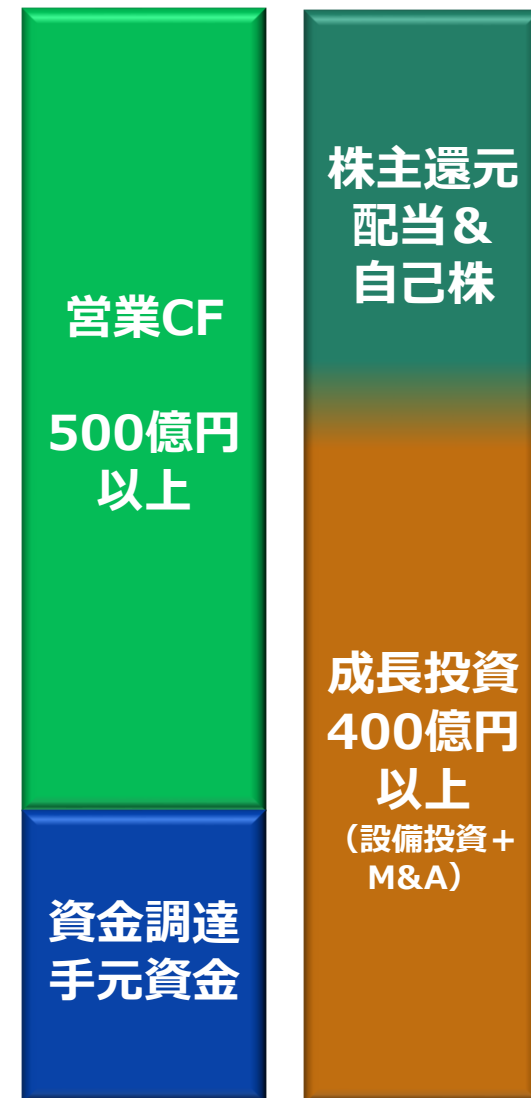
GLP2026期間のROE計画



2. キャピタルアロケーションの最適化

500億円以上の営業CFに加えて、資産効率性の向上と強固な財務体質を活かした資金調達によりキャッシュを創出し、新領域のビジネスを推進するために400億円以上の成長投資を行います。株主還元については、配当は連結配当性向50%以上を目標とし、自己株式の取得は必要に応じて機動的に実施致します。

GLP2026期間の
キャピタルアロケーション
キャッシュ創出 キャッシュ使途



6-1. 人材戦略

経営ビジョン	「はかる」を超える。限界を超える。共に持続可能な未来へ。		
経営戦略	既存事業の枠を超え、FY2030に売上高2,000億円、営業利益率20%を目指す		
	新領域ビジネスの開拓	強いものづくり	働き方改革
人材ビジョン	「会社と多様な従業員がベクトルを合わせ、事業(社会)貢献意識を持ち、仕事と私生活のバランスを取りながら生き生きと働いている」		
人材課題	- 経営戦略に連動した人材確保と配置 - 年齢別人員構成：FY2030に向けコア・中堅層の不足、シニア層の活用 - 経営戦略実現に向けた職場風土醸成：成長・挑戦/多様性受容/仕事と生活のバランス		

■ Initiative

● 成長事業・重点領域の人材確保と育成

- ✓ 経営戦略からトップダウンで人員計画を作成し、全体最適で戦略的な人員確保/配置/教育を行う
- ✓ 経営層、経営戦略部門、人事部門によるレビュー体制の確立（人材戦略レビュー）
- ✓ A-SKILLSを立ち上げ、カンパニー横断での人材育成体制を構築

● 若年/リーダー層の積極採用と育成、およびシニア層活用強化

- ✓ 新卒/キャリア問わず、若年層/コア人材の積極的な獲得を目指す
- ✓ 配置/職種転換の推進やリスキリング等の継続的な成長支援によるシニア層活用強化

● 経営/人材ビジョン実現に向けた職場風土醸成

成長・挑戦

- ✓ 自らの壁を取り払い、新たな領域に好奇心を持って取り組む人材、ステークホルダーや他社と共に社会課題の解決を目指す人材を育成する

多様性の受容

- ✓ 価値観や考え方も含め多様性を持つバラエティに富んだ人材が混ざり合い、多様な視点と強みを活かし新たな価値を創造する

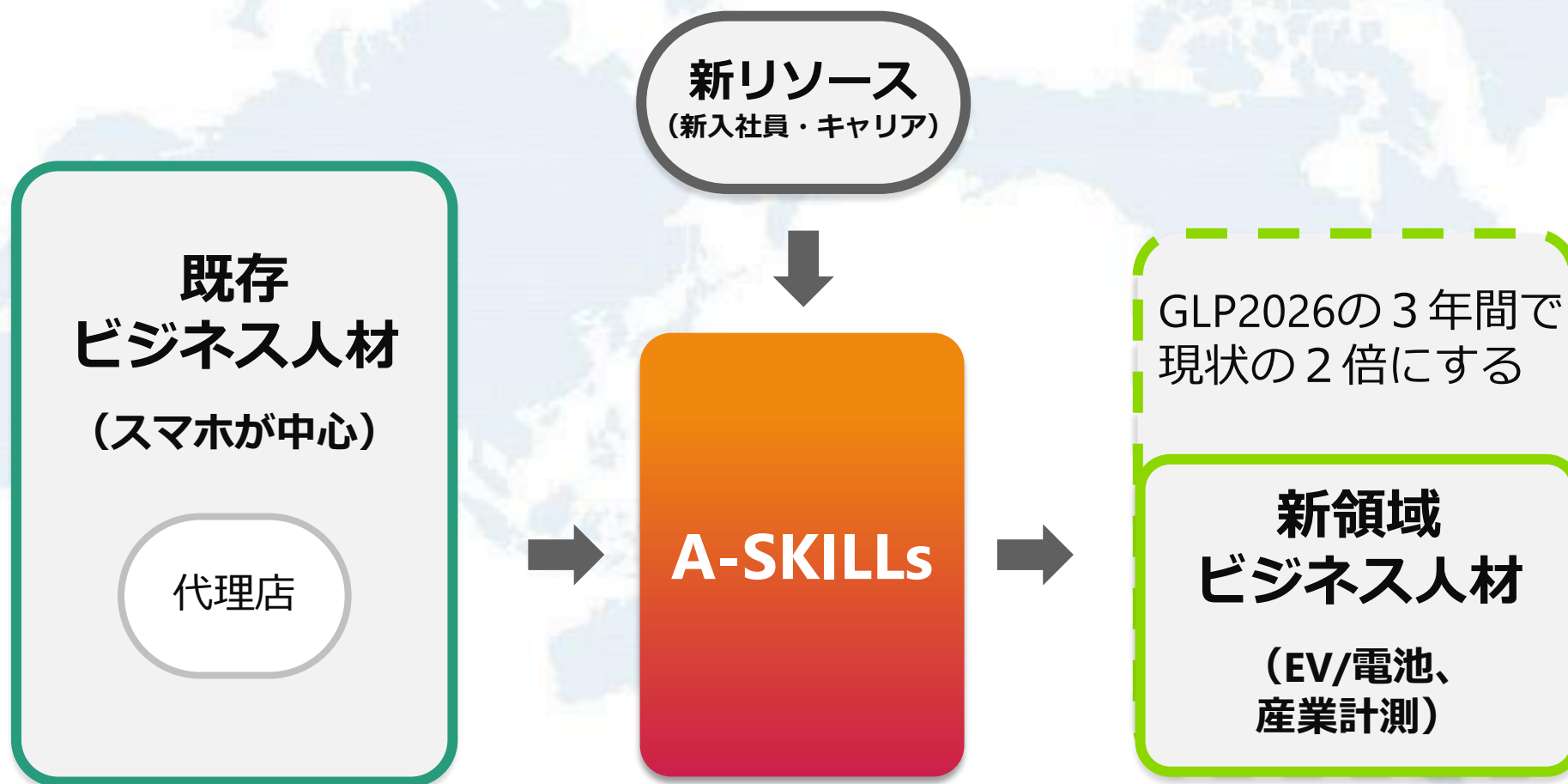
ライフワークバランス、就業環境整備

- ✓ 「生活と仕事のバランスを考えて、働きやすく人生を楽しめる会社」と「労働生産性が高く働きがいがある会社」の両立に向けた制度・環境を整備する

6-2. 新領域ビジネスの人材を育成

Anritsu SKILLS training center (A-SKILLS)をスタート

- 新領域ビジネスの“技術”と“販売力”のスキルを身に着ける
- EV/電池計測、産業計測分野の人材をグローバルで増強



7. サステナビリティ目標

目標・取組

GLP2026:KPI

E
環境

温室効果ガスの削減

- 温室効果ガス（Scope1+2）（※）：2021年度比 23%以上削減
- 温室効果ガス（Scope3）（※）：2019年度比 17.5%以上削減
…2030年度で、Scope1+2は42%以上、Scope3は27.5%以上削減

自家発電比率の向上(PGRE 30)

- 自家発電比率：14%以上 … 2030年ごろまでに30%程度まで高める

資源循環(サーキュラーエコノミー)の実現

- 資源循環に対応した製品をリリースする
- プラスチックごみを100%マテリアルリサイクル

ダイバーシティ経営の推進

- 女性の活躍推進：女性管理職比率 15%以上
- 障がい者雇用促進：職域開発による法定雇用率 2.7%達成

S
社会

働きがいのある労働環境の実現

- 社員満足度調査の働きがいポジティブ回答率：80%以上

グローバルなCSR調達の推進 (環境、労働環境、人権などにおける社会的責任)

- サプライチェーン・デューデリジェンスの強化：10社/年以上
- CSR調達に係るサプライヤーへの情報発信：3回/年、教育2回/年以上

G
ガバナンス

グローバルなガバナンス向上

- 取締役の多様性の推進：女性取締役比率 20%以上
- 取締役会における重要経営課題の集中討議 6回/年

(※) Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)、Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出、Scope3：カテゴリ1(購入した製品・サービス)+カテゴリ11(販売した製品の使用)における間接排出

8. 財務戦略詳細

杉田 俊一

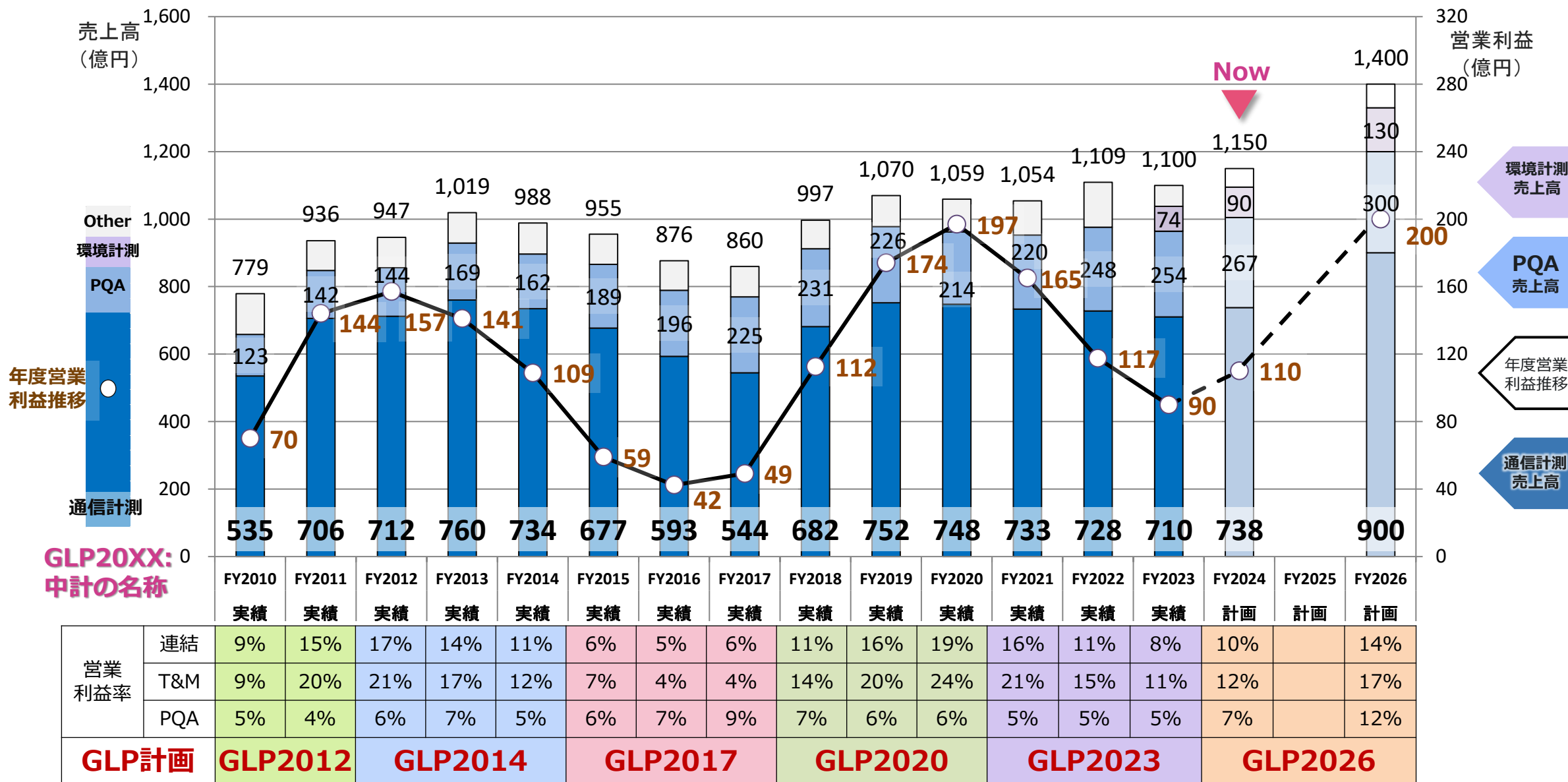
アンリツ株式会社
常務執行役員 CFO

(単位：億円)

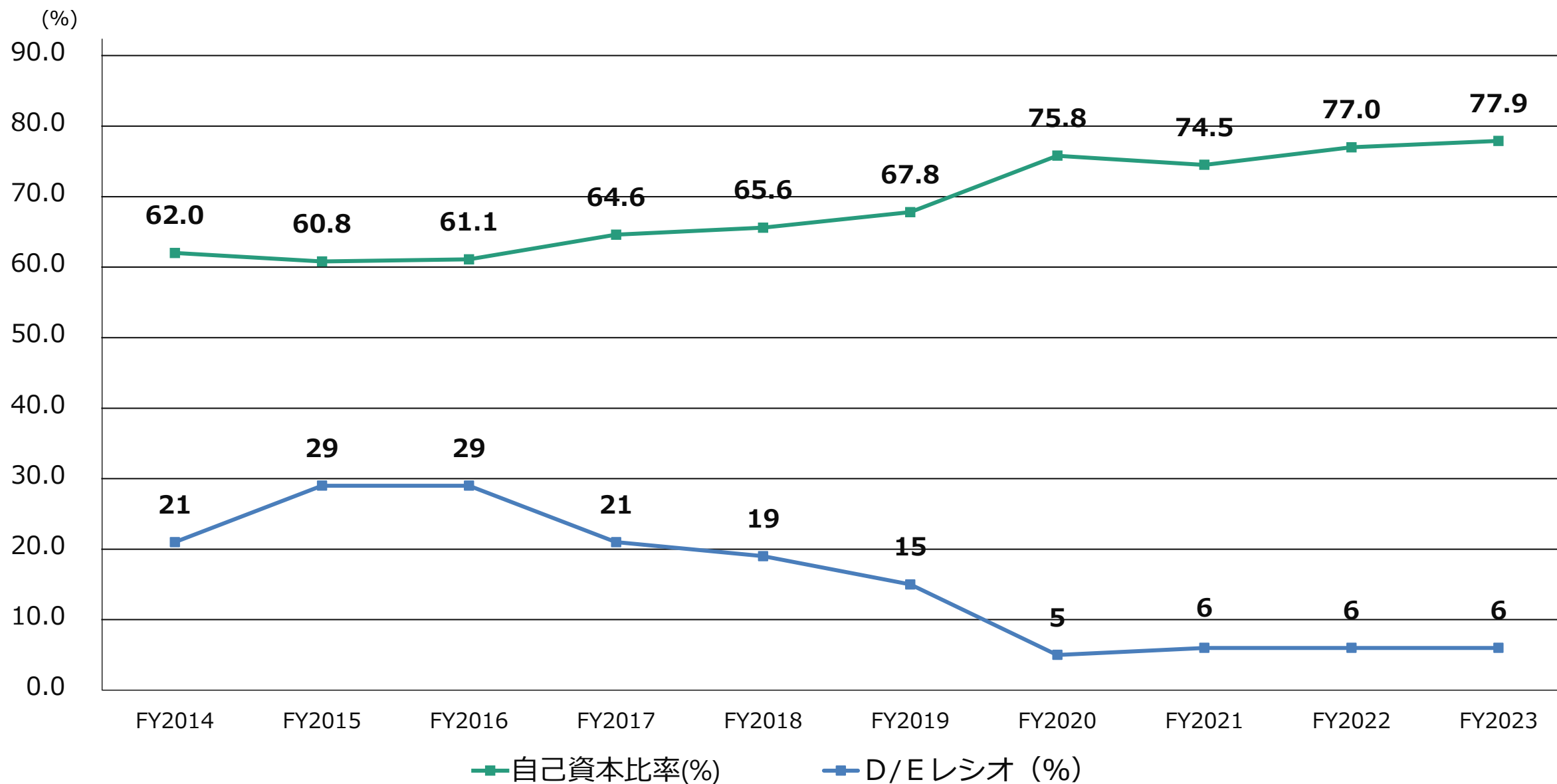
(参考) FY23 為替レート : 1米ドル145円、1ユーロ157円
FY24 想定為替レート : 1米ドル145円、1ユーロ155円

新中期経営計画

8-2. 売上高・営業利益計画



8-3. GLP2026：自己資本比率とD/Eレシオの推移

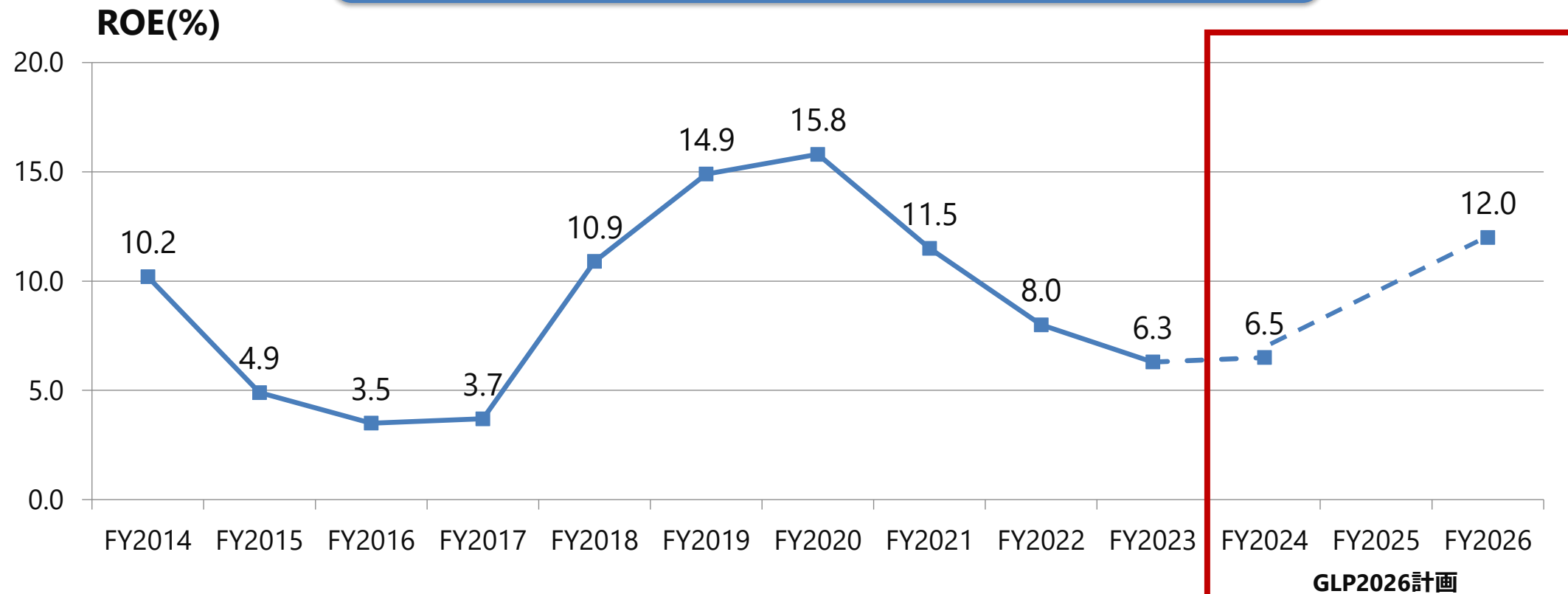


8-4. GLP2026 : ROE推移

- ◆ 成長性・収益性・効率性の重視
- ◆ 成長に向けた投資を強化
- ◆ 株主還元の充実

企業価値KPI

ROE $\geq$ 12%



9. 通信計測事業

島 岳史

アンリツ株式会社

取締役 常務執行役員 通信計測カンパニープレジデント

ビジョン

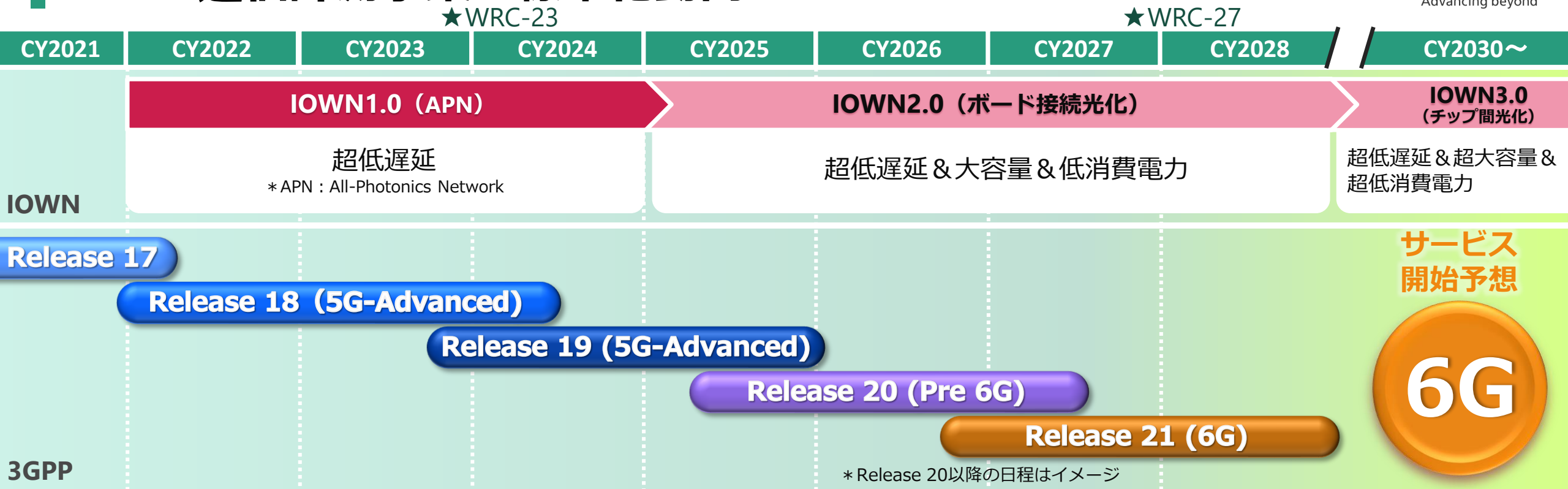
高品質で信頼性の高い通信テストソリューション、シミュレーションやサービスといった「はかるを超える」付加価値を提供し、DXの発展に貢献する

通信の信頼性を上げることで社会の安全・安心を実現する

計画達成に向けた方針

- ▶ 通信事業者、グローバルなデバイス・インフラベンダ、自動車関連ベンダに6G(サブテラヘルツ)、800GE/1.6TE、デジタルコヒーレント、テストとシミュレーションの高品質なソリューションを提供し、通信の安全・安心が担保できる社会基盤作りに貢献する
- ▶ 実環境での通信品質向上のための検証技術を世界に先駆けて確立する
- ▶ 6Gなどの次世代技術への投資を増大させる

9-2. 通信計測事業：標準化動向

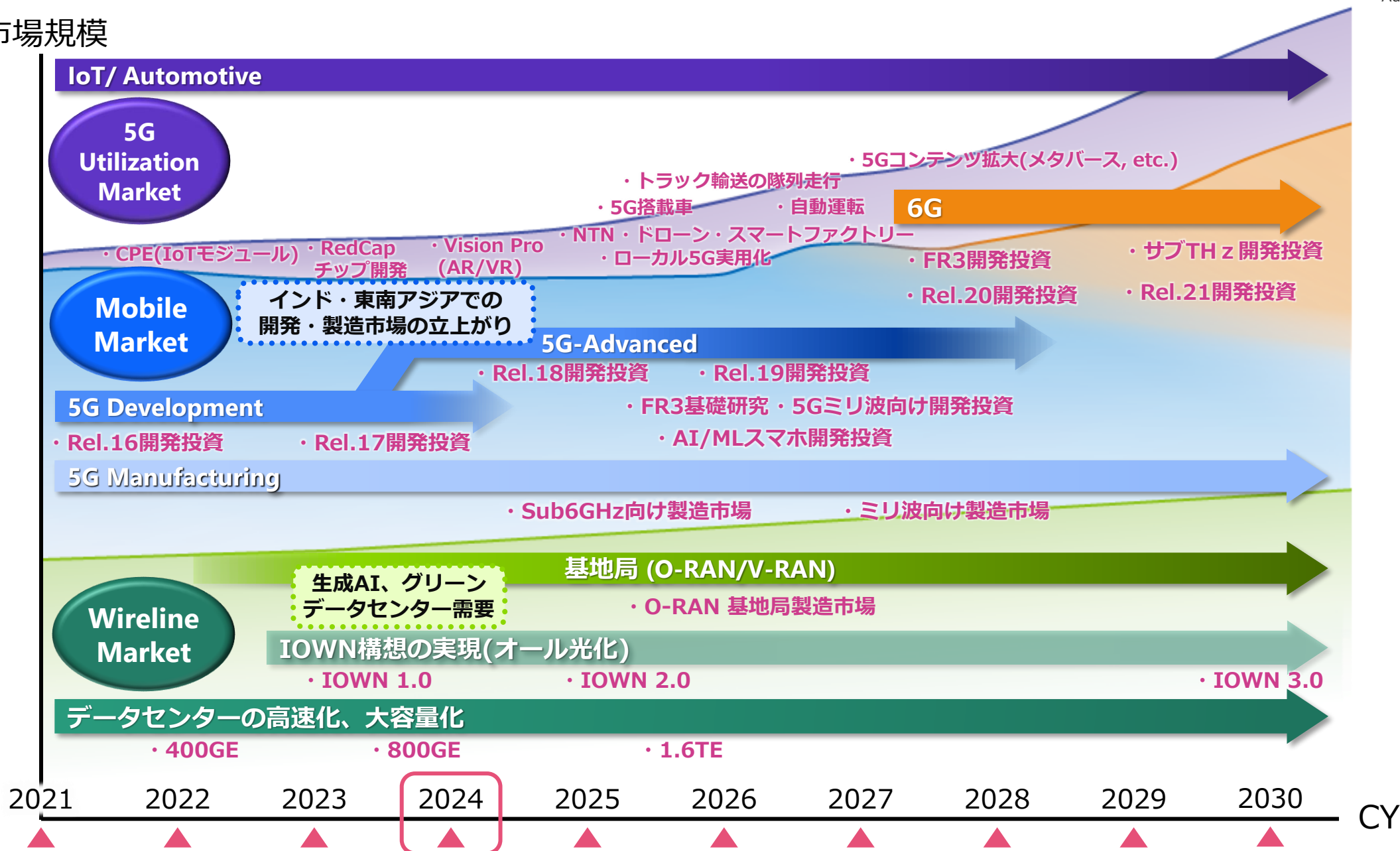


3GPP Releaseの主な追加仕様	Release17	Release18	Release19
Network強化	非地上ネットワーク(NTN)	AI/MLモデルの配信/転送	FR3(7~15GHz)対応 AI/MLエアーインターフェイス
端末機能強化	電力消費量低減	ミッションクリティカル通信	XR機能強化
産業用IoT	産業用IoT “RedCap”の導入	5Gスマートグリッド	UAV/UAM（ドローン/空飛ぶ車）
Automotive	V2X	サイドリンクCA	FR2サイドリンク

* Release 19のテーマは2024年6月に決定予定 * 出所：一般公開情報を参考に当社作成

9-3. 通信計測事業：通信計測市場トレンドと事業機会

市場規模



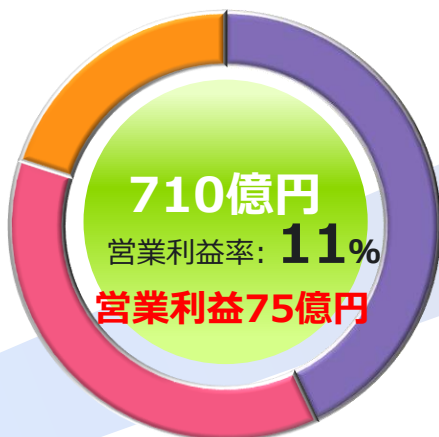
9-4. 通信計測事業：GLP2026 売上高・営業利益計画

- ・生成AIによるネットワーク高速化（800GE、1.6TE）需要を獲得
- ・ソフトウェアビジネスを拡大し営業利益率を改善
- ・高周波帯向け通信計測器ラインナップの拡充とそれらに携わる技術体制の拡充（人材への投資）

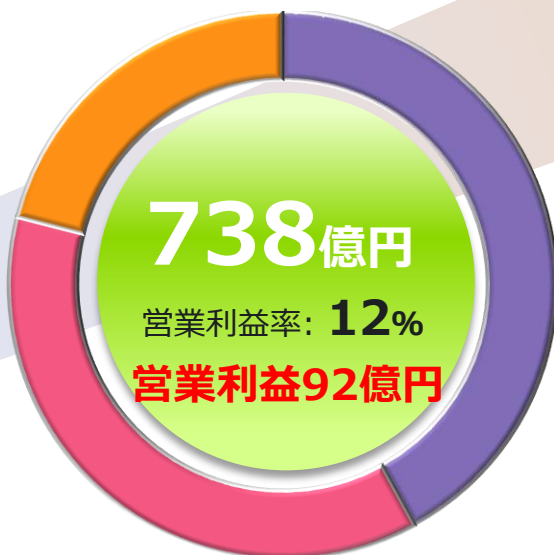
凡例

- モバイル
- エレクトロニクス
- ネットワークインフラ

FY2023



FY2024



FY2026



グラフはイメージ

9-5. 通信計測事業：製品紹介

生成AIの普及によるデータセンターの大容量化に伴う光トランシーバー評価に対応



BERTWave MP2110A

100GE/400GE/800GE向け光トランシーバーの性能評価環境を提供
データセンターのサーバー間通信の高速化に貢献

100GE/400GE/800GE信号

サーバーユニット

出展：Yole社の市場調査レポートより



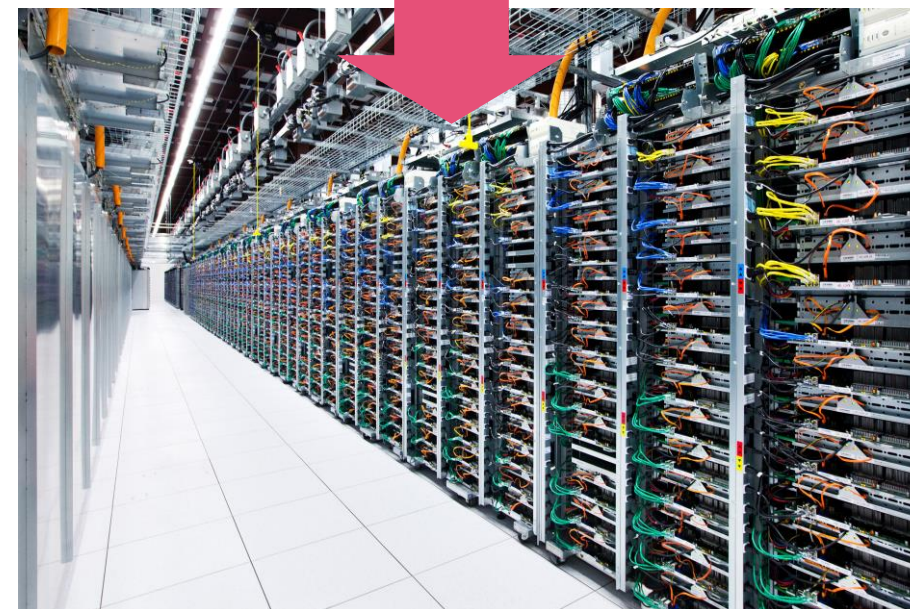
Courtesy of Innovium



光トランシーバー



光トランシーバー



サーバーラックの裏側

サーバーユニットに挿入される大量の光トランシーバー

出典：Explore our photo gallery - Google Data Centersより
<https://www.google.com/about/datacenters/gallery/>

10. PQA事業

村田 勲一

アンリツ株式会社

執行役員 PQA事業グループプレジデント

ビジョン

**持続可能な未来に向けて、世界中のお客様から
最も信頼される品質保証の First to Call カンパニーになる**

計画達成に向けた方針

- ▶ グローバル市場への事業拡大
- ▶ お客様の課題を解決する独創的な品質保証ソリューションの創造
- ▶ 医薬品/医療市場への事業拡大

10-2. PQA事業：GLP2026 市場の成長機会

市場成長機会

医薬品市場

日本・北米・中国
インド

市場ドライバー

安全への高い関心
新興国の医療改善
高齢者人口の増加

食品：先進諸国市場

欧米・日本・中国

市場ドライバー

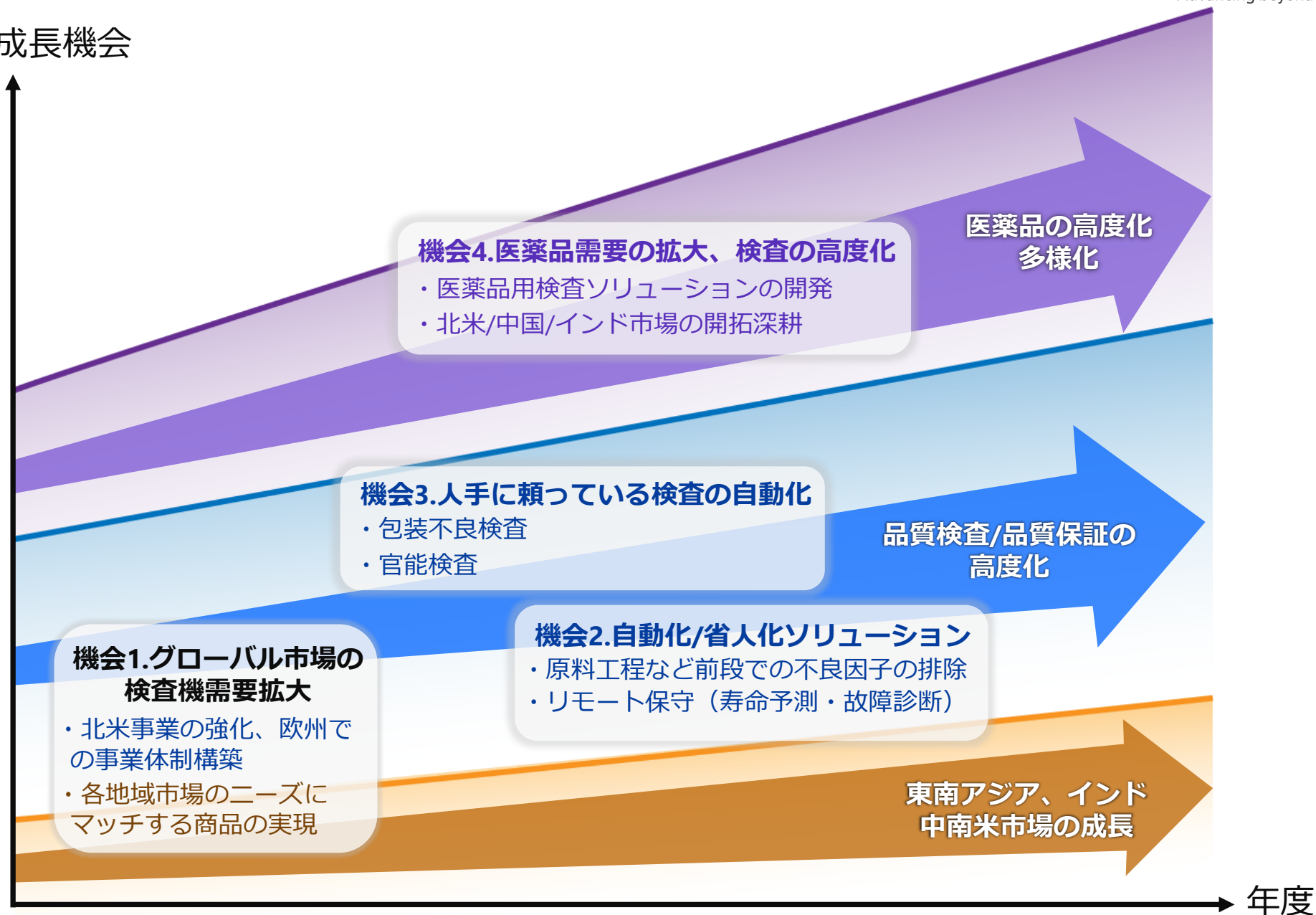
食品ロス削減・省エネ
ブランドリスク増大
労働人口の減少・少子化

食品：新興国市場

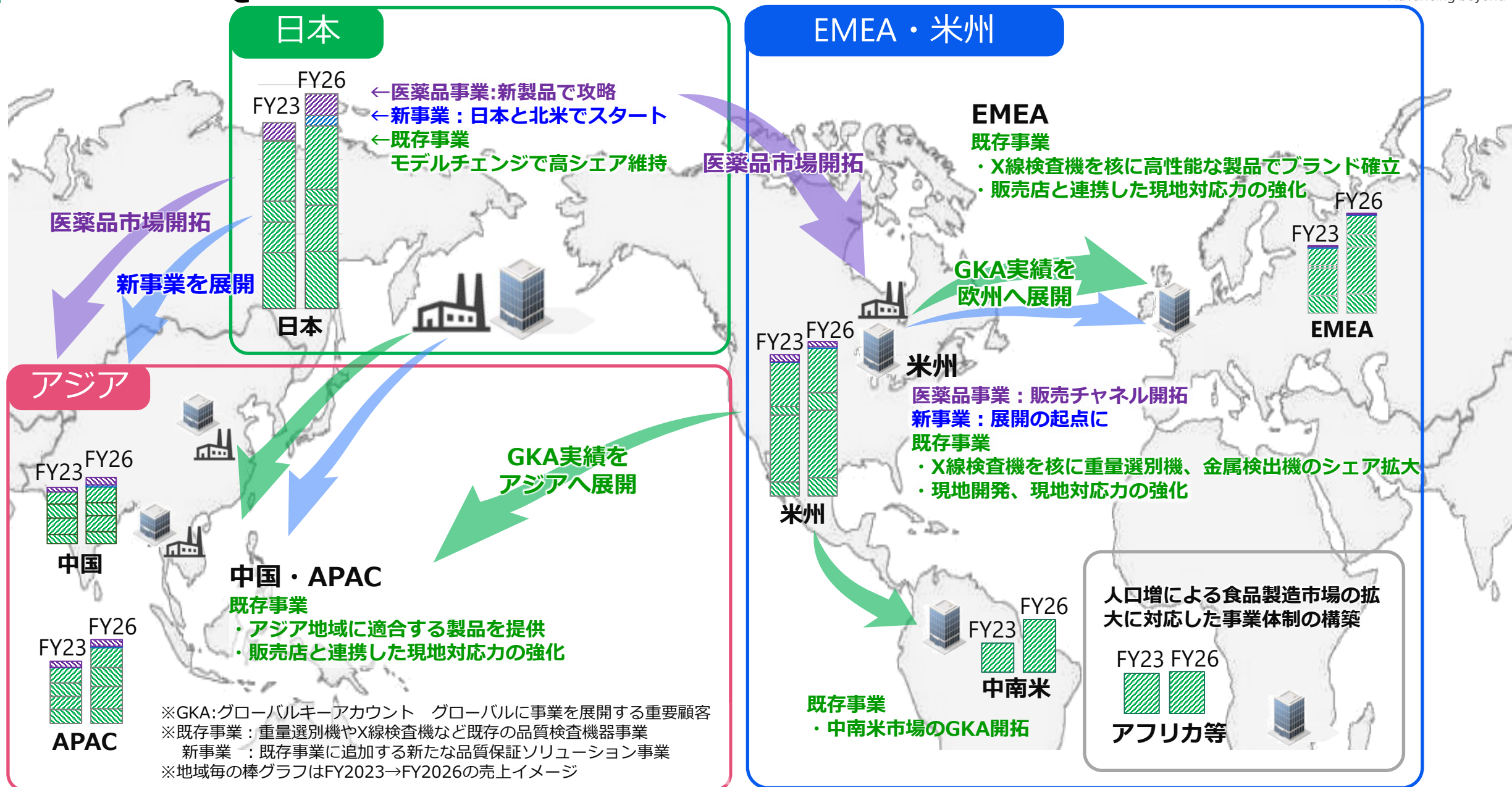
東南アジア・インド
中南米

市場ドライバー

労働人口の増加、経済発展



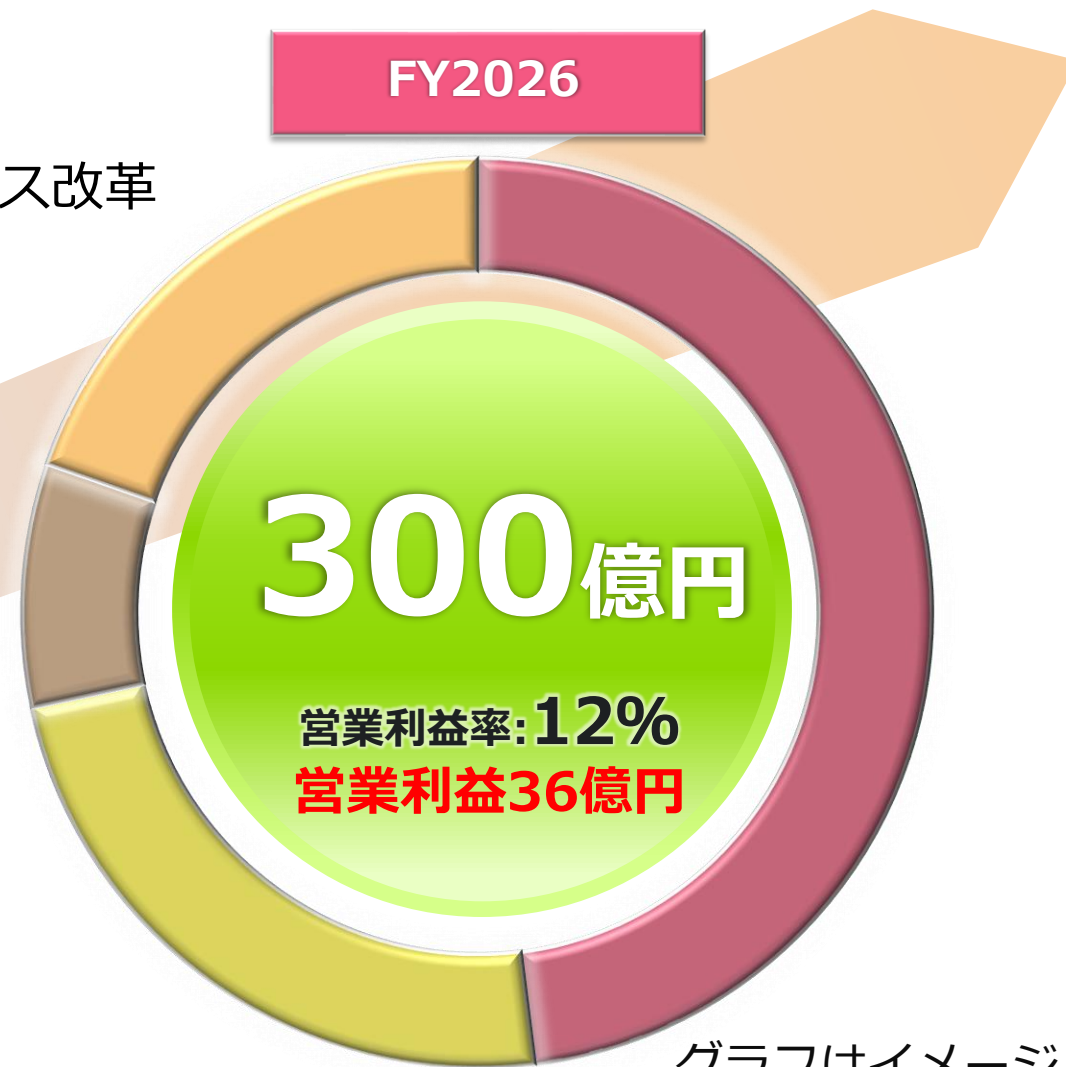
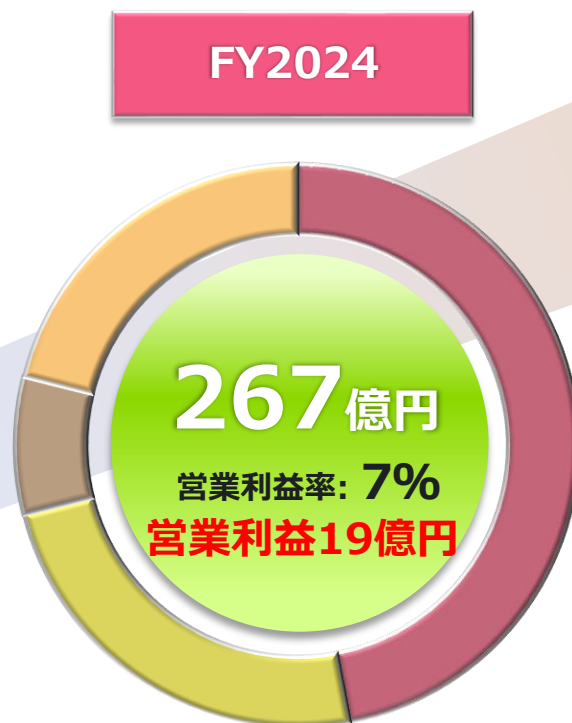
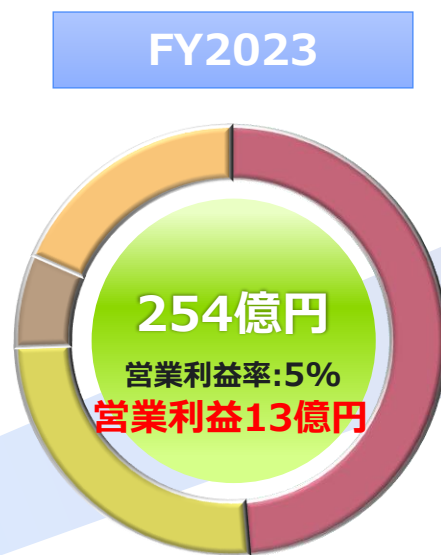
10-3. PQA事業：GLP2026 グローバル事業展開



10-4. PQA事業：GLP2026 売上高・営業利益計画

- ・顧客価値の高いソリューションの創出：
AIなど先端技術の獲得、生産ラインの自動化・省人化
- ・高付加価値領域への事業拡張：
人手に頼っている検査の自動化、医薬品製造市場
- ・強靱な利益体質の構築：
サプライチェーンのグローバル最適化、業務プロセス改革

凡例



グラフはイメージ

10-5. PQA事業：製品紹介

AI搭載デュアルエネルギーセンサX線検査機 KXH7534ASGCD

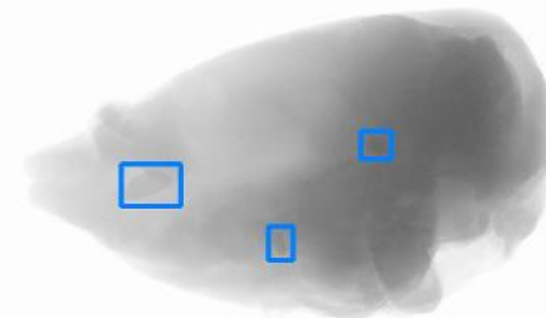


- ・ 高精細なX線撮像能力を持つX線検査機「XR75シリーズHRタイプ」に、異物検出用に開発した**深層学習型AIを搭載**
- ・ 従来のX線では検査が難しかった「**鶏肉の中の軟骨**」や「**重なりのあるソーセージの折れ**」などの検査が可能
- ・ 原材料の受け入れ時や加工工程で異常を排除することで**生産性の向上**と**食品ロスの削減**に貢献

可視光写真



X線検出画像（青枠内が異物と判定）



鶏肉に付着した骨や樹脂（実験用ダミー）の検出例

11. 環境計測事業

徳家 努

アンリツ株式会社

執行役員 経営企画室長

ビジョン

持続可能な社会の実現に貢献するソリューションを提供し、カーボンニュートラル、産業のデジタル変革、社会インフラのレジリエンスに向けた課題解決に不可欠な存在として認知され確固たる地位を確立する

計画達成に向けた方針

- ▶EV/電池試験ソリューションの継続強化により市場成長以上の事業成長を実現する
- ▶EV/電池試験ソリューションのグローバル(北米市場)展開をGLP2026で軌道に乗せる
- ▶「つなぐ技術」で製造現場の効率化/省人化を実現する
- ▶社会の安全・安心を守る通信インフラの次世代化に貢献する

EV/電池試験事業

高砂製作所の電源事業を核に成長を加速

《重点事業領域》

EVを中心としたモビリティの電動化と周辺市場

《事業戦略》

高砂製作所の電力制御技術と市場実績を基盤にソリューション展開を拡大

《主な施策》

- 電源システムのフレキシブル性を強化し多様化する試験ニーズへの対応
- EV/電池評価市場から周辺市場へのソリューション適用範囲の拡大
- EV普及で拡大する周辺デバイス市場に向けた製品ラインナップの拡大
- 国内事業で培った技術とノウハウを生かした海外市場開拓
- グループ生産拠点の連携強化による製品供給能力の増強



産業DX事業

「つなぐ技術」で製造現場の効率化/省人化を実現

《重点事業領域》

人手不足が深刻化する「ものづくり」の現場

《事業戦略》

通信と映像の技術で現場の安全性と生産性向上に貢献するソリューションを提供

《主な施策》

- 現場発生イベントと映像情報を連動させる“AccelVision”の投入
- ローカル5Gの導入やソリューション共創の場となる“5G LAB”の運営



AccelVision



ANRITSU
5G LAB



社会インフラレジリエンス事業

社会の安全・安心を守る通信インフラの次世代化に貢献

《重点事業領域》

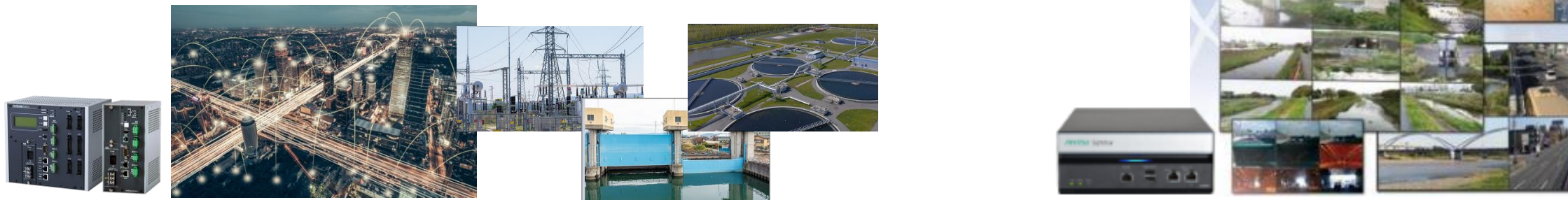
品質と安定性が要求される公共性の高い情報通信システム市場

《事業戦略》

高い技術とノウハウで通信インフラ設備の円滑な次世代化に貢献

《主な施策》

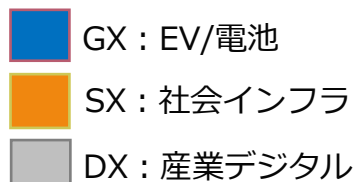
- 社会インフラ保全ネットワークのフルIP化ソリューションの提供
- 自然災害への備えを支援する分散型遠方監視システムの開発
- クラウドに対応した帯域制御ソリューションの投入



11-3. 環境計測事業：GLP2026 売上高・営業利益計画

- ・国内EVパワートレイン試験、およびEV関連の裾野市場で優位なポジションを維持
- ・EV/電池試験や電源ビジネスのグローバル展開に向けた取組みの加速
- ・製造現場映像ソリューション“AccelVision”の事業拡大
- ・人々の安全と安心を守るネットワークソリューションの拡充

凡例



FY2023



FY2024



FY2026



グラフはイメージ

11-4. 環境計測事業：製品紹介

EVの駆動系やバッテリーの試験に使われる**試験用高電圧電源**

アプリケーションで目的に合わせた用途変更

電圧/電流の容量変化に応じた直列/並列構成

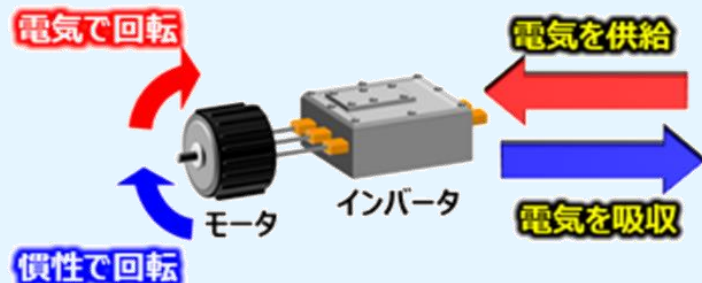
電池充放電試験

【電池評価】



駆動系試験

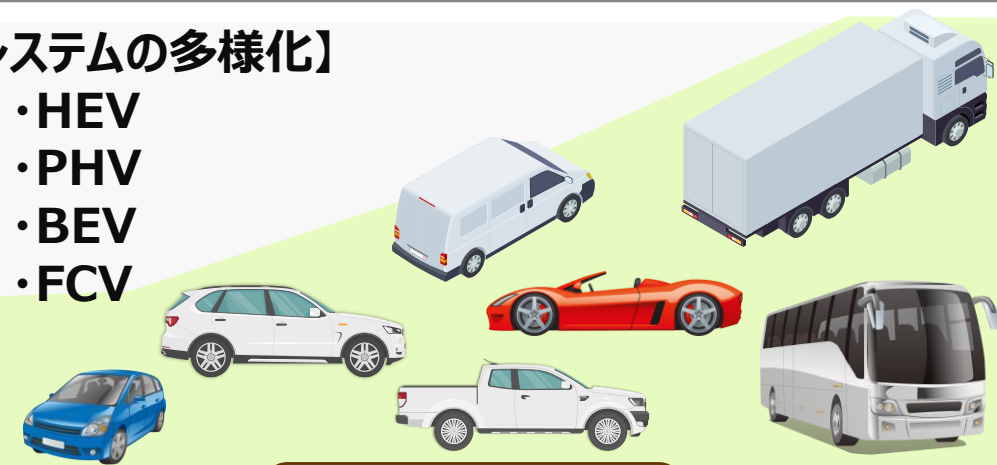
【インバータ・モータ評価】



RZ-X2-100K

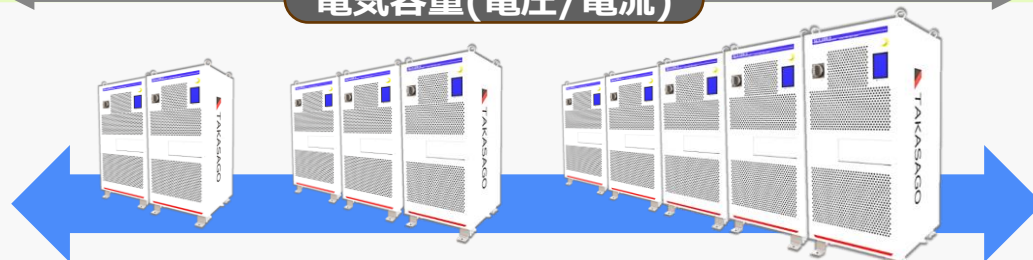
【システムの多様化】

- ・HEV
- ・PHV
- ・BEV
- ・FCV



対応車種の多様化

電気容量(電圧/電流)



試験要求に応じて柔軟に拡張

Appendix

ADAS :	Advanced Driver-Assistance Systems
AR :	Augmented Reality
A-SKILLS :	Anritsu SKILLS training center
BEV :	Battery Electric Vehicle
CPE :	Customer Premises Equipment
CSR:	Corporate Social Responsibility
EM:	Environmental Measurement
FCV :	Fuel Cell Electric Vehicle
GLP :	Global Long-term management Plan
HEV :	Hybrid Electric Vehicle
IOWN :	Innovative Optical and Wireless Network
ML :	Machine Learning
NTN :	Non-Terrestrial Network
O-RAN :	Open Radio Access Network
PGRE :	Private Generation of Renewable Energy
PHV :	Plug-in Hybrid Vehicle
PQA :	Products Quality Assurance
ROE:	Return On Equity
T&M:	Test and Measurement
VR :	Virtual Reality
V-RAN :	Virtual Radio Access Network

